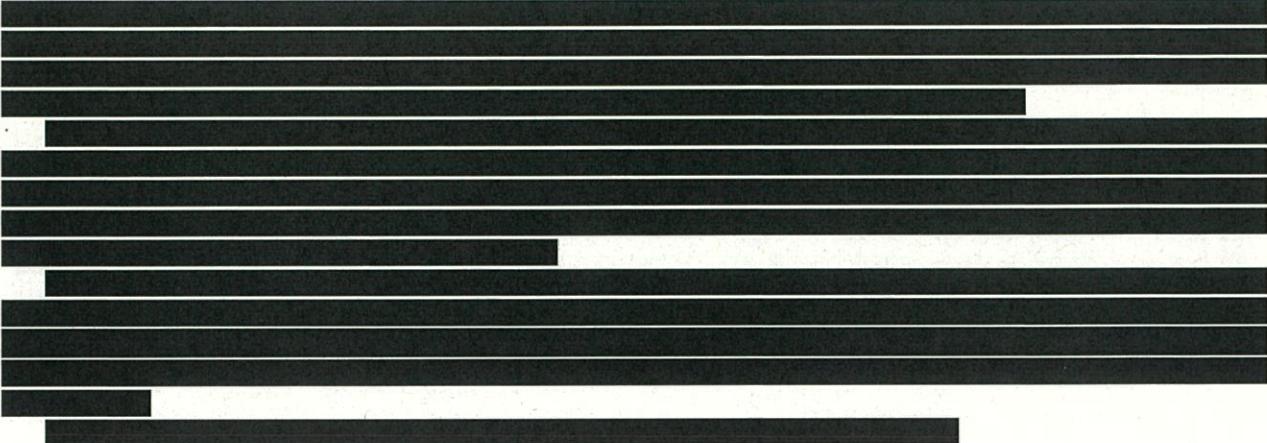


大学院入学試験問題用紙

2022 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
英語	地域創成科学 専攻 修士 課程		

I. 次の英文を読み、下記の小間に答えなさい。(30 点)



Refer to VOA, LEARNING ENGLISH, SCIENCE & TECHNOLOGY, May 06, 2021, World's Glaciers Melting Faster than Ever

Words

glacier – n. a very large area of ice that moves slowly down a slope or valley or over a wide area of land

metric* – adj. made or measured using the metric system

melt* – v. to become or make something become liquid as a result of heating

enormous - adj. very great in size or amount

shrink* – v. to become or to make something smaller in size or amount

regrow** – v. to grow again, or make something grow again

* Refer to NEW 9th Edition Oxford Advanced Learner's Dictionary

** Refer to Cambridge Dictionary with web edition

(i) 小問 01 本文中の（1）～（3）に示した下線部をそれぞれ和訳しなさい。

（1）

（2）

（3）

(ii) 小問 02 上記の英文の内容に対して、あなたの考えを和文で書きなさい。(150 字程度)。

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
英語	地域創成科学 専攻 修士 課程		

II. 次の文章によって表される英単語を選択肢から選びなさい (各 5 点、計 20 点)

(出典 : Longman 現代英英辞典 Web 版)

- (i) [REDACTED]
(ii) [REDACTED]
(iii) [REDACTED]
(iv) [REDACTED]

<the choices> contaminate, compare, community, conclusion, compass, conductivity, confession, condition, concrete

(i) (ii) (iii) (iv)

III. 次の英文が和文の意味になる様に、括弧に含まれる単語のうちもっとも相応しいものを○で囲みなさい (各 5 点、10 点)

(i) (和) データはアンケート調査によって得られた。

(英) Data for the study were (A: deriving, B: derived, C: to derive) through questionnaire survey.

(ii) (和) 到着の早い個体と遅い個体間では、羽の長さの違いが観察された。

(英) Differences (A: in, B: among, C: by) wing length between early and late arriving individuals were observed.

IV. あなたの大学院博士前期課程での研究計画について、英文 100 ~ 150 words で説明しなさい。(40 点)

大学院入学試験問題用紙（1/2）

2022年度1期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
地域デザイン学	地域創成科学 専攻 修士 課程		

問1 地域デザインの5つキーワード：環境教育(ESD)・観光まちづくり・グリーンインフラ・環境政策(SDGs)・里山と暮らしから、いくつかキーワードを選択し、自身の研究との関わりについて、明確に説明しなさい。

大学院入学試験問題用紙（2/2）

2022年度1期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
地域デザイン学	地域創成科学 専攻 修士 課程		

問2 次の課題（1）、（2）のうち、1つを選び説明しなさい。

- (1) ワークショップによる集団的創造のデザイン方法について説明しなさい。
- (2) 計画に必要な5つの要素を挙げ説明しなさい。

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
保全生態学	地域創成科学 専攻 修士 課程		

以下の設問から 2 つを選択し、解答しなさい。

- 調査面積（対数）が大きくなると、出現種数（対数）は直線的に増加することが知られている（種数一面積関係）。なぜこのような関係が得られるのか？これまでに様々な仮説が提出されているが、その内、2 つの仮説をあげて説明しなさい。
- 有効集団サイズ（ Ne ）とは何か？また、 Ne がある閾値以下になると加速度的に Ne が減少するのはなぜか？
- 東アジアの植物区系（日華区系）の植物相の特徴を述べなさい。
- 個体間の地理的距離を X、それらの相互交配による繁殖成功度を Y とする。X が数 m から数千 km の範囲で変化したとき、Y はどう変化するか？考えられるパターンを図示するとともに、その理由を説明しなさい。

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
地域環境保全学	地域創成科学 専攻 修士 課程		

問 1. 地域の環境保全の計画、実施にあたっては、様々な研究分野からの取り組みや実践活動が不可欠である。このことに関して、自身の入学後の研究について説明した上で、地域環境保全とのかかわり方について簡潔に説明しなさい。(25 点)

問 2. 修士論文で取り組む研究の学術的な意義を教育との関わりから、400 字以内で述べなさい。(25 点)

問 3. 次の 4 つの用語のうち 2 つを選び、それぞれ 150 字以内で説明しなさい。(25 点)

- (1)自然公園法 (2)節足動物 (3)エコツーリズム (4)外来種

問 4. 環境解析を行う際、多用される地理空間情報技術について、次に挙げる 5 つの「技術/プラットフォーム」に対して、「その使用する技術/プラットフォームを用いる目的」については選択肢 A 群から、「使用/取得データ」については選択肢 B 群よりそれぞれ適する語句を選び、括弧内に記述しなさい(5 問×5 点=25 点)。

技術/プラットフォーム	目的 (選択肢 A 群より)	使用/取得データ (選択肢 B 群より)
①GIS	()	()
②GPS	()	()
③UAV (ドローン)	()	()
④3 D レーザー測量	()	()
⑤衛星画像	()	()

選択肢 A 群：目的

(地物の 3D データ取得・狭域の鉛直下トゥルーカラー画像取得・オーバーレイ解析・広域の土地被覆の把握・位置情報取得)

選択肢 B 群：使用/取得データ

(大量の鉛直下画像及び SfM ソフト・シェープファイル・緯度経度値・4 バンドマルチスペクトル画像・3 次元点群データ)